

## V まちづくりの重点的取組

めざすまちの姿を実現するための目標を市民と行政で共有し、市民とともに次の項目に優先的に取り組みます。

- 1 安心して暮らせるまちづくり
- 2 ずっと住みたいまちづくり
- 3 訪れてみたいまちづくり

## 1 安心して暮らせるまちづくり

(1) だれもが安心して子育てできる環境を整えます。

次代を担う子どもたちを安心して産み育てることができる子育て環境や教育環境を充実させます。

ア 安心して子育てができる少子化対策の推進

保育所入所待機児童ゼロの取組や病児・病後児保育など多様なニーズに対応した保育サービスの提供、子育てに係る経済的負担の軽減や子育て不安の解消、仕事と子育て両立支援や障がい児支援、児童虐待防止体制の強化 など

イ 子どもたちがいきいきと育つ環境整備

I C Tの導入による学習環境や学力の向上対策、いじめや不登校など子どもや保護者の悩みに寄り添うことができる体制づくり、子どもの貧困対策、放課後児童対策の強化、生涯学習の充実、教職員の働き方改革 など

(2) 「おたがいさま」で支えあう地域コミュニティを形成します。

人生100年時代を見据え、だれもが生きがいをもって暮らすことができる地域社会の仕組みをつくります。

ア 多様な世代が生きがいをもって豊かに暮らせる自主自立のまちづくり

地域団体との連携強化や支援の充実、地域団体の後継者育成などのまちづくり支援機能の強化、市民公益活動の推進 など

イ 健康で暮らしやすい生活都市づくり

子どもから高齢者まで住み慣れた地域で生活できる地域包括ケアシステムの深化・推進、校区単位の健康まちづくりなど生涯を通じた健康づくり、住民同士で支え合う地域福祉活動 など

## 2 ずっと住みたいまちづくり

(1) だれもが移動しやすく暮らしやすい都市をつくります。

中心市街地と地域拠点を利便性の高い公共交通などで結んだ多核連携都市を形成します。

ア 地域拠点到都市機能が集積した都市づくり

中心市街地と地域拠点での商業・医療など暮らしに必要な機能の維持・確保、利便性の高い公共交通沿線での人口密度の維持、歩いて楽しめる都市空間の創出 など

イ 交通利便性が高い都市づくり

市電やバスなど基幹公共交通軸の形成、日常生活を支えるバス路線網の再編・運行体制の見直し、公共交通空白・不便地域へのコミュニティ交通の導入・維持、公共交通と自動車交通の最適な組み合わせと幹線道路網の整備による交通渋滞対策 など

(2) 雇用機会を創出し、熊本に住み、働ける環境を整備します。

成長産業の振興や企業誘致の推進などにより地域経済を活性化させ、市民所得の向上につなげます。

ア 地域経済の振興

産学官や産業間連携による食品、医療・介護・健康、環境、クリエイティブ産業などの成長産業の創出、中小・小規模事業者の事業承継への支援、農水産業の振興、経営支援、商店街の魅力向上やにぎわいの創出、外国人材の活躍推進 など

イ 安定した雇用の創出

就職・就業支援や職業訓練などによる新たな技術革新に対応できる産業人材の育成・還流、創業支援や企業誘致の推進などによる雇用の創出、農水産業における担い手の育成 など

### 3 訪れてみたいまちづくり

(1) 伝統文化とエンターテインメントが共鳴するにぎわいを生み出します。

多くの人が集う、九州中央の交流とにぎわいの拠点都市をつくります。

ア 歴史や伝統文化の継承・発展と観光の振興など熊本の魅力の創造・発信

熊本城の着実な復旧と公開、観光資源の魅力の向上と発信、ストーリー性を持たせた観光ルートの設定、熊本城及び水前寺成趣園などの観光客の受入環境整備、データ分析に基づく観光戦略 など

イ 国内外から多くの人が集う交流とにぎわいづくり

熊本の特性をいかしたMICEやスポーツ大会などの誘致、国内外との交流促進、多文化共生のまちづくり など

(2) 人と自然が共生する恵み豊かで持続可能なまち熊本を発信します。

地下水や自然環境を守り育み、「地下水都市・熊本」、「森の都」を発信するとともに、農水産物をはじめとした、熊本の豊かな恵みを広く発信します。

ア 世界が認めた地下水の保全と緑あふれるまちづくり

恵まれた地下水の質と量の保全、くまもと水ブランドの発信、市域に残る自然環境の保全や新たな緑の創出、プラスチック対策の推進 など

イ 安全で良質な農水産物の魅力発信

ICTやAI技術を活用したスマート農業の推進、安全・安心で良質な熊本の農水産物の発信、高付加価値化・ブランド化による国内外への販路拡大 など